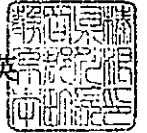


川本建第186号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

静岡県榛原郡川根本町長 杉 山 嘉 英



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

9月19日付け国道企第37号に係るこのことについて、別紙のとおり提出します。

担当：建設課公共建設係

電話：0547-56-2227

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

静岡県川根本町

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

現在、国の道路政策は都市部（交通量の多い）道路再開発を重点にしていると思われる。

費用対効果を考えると、やむをえないと思うが、山村に住んでいる人たちも国民であり、交通手段の少ない山間地では、安全・安心して通行できる道路（片側一車線または1.5車線）整備が最重要である。

そのため、道路構造令をなお一層緩和し、地域の実情に合った、融通性のある道路づくりが出来るようにしていただきたい。

地域活性化の一つの方策として、交流人口の増大が求められているが、従来の周辺部と主要都市を結ぶ道路整備とともに、交流拠点・観光スポットを結ぶネットワーク化が必要である。

眺望の良いところに駐車スペースを設けるなど、道路自体も交流拠点となるよう配慮していただきたい（土地の提供など地元の協力は当然のこととして）。

未だ道路の未整備区間の多い当地のような自治体として、住民とともに道路整備促進のための道路特定財源の必要性を今後も訴えていく。

道路の安全性の向上のため、道路周辺の森林等の整備・管理も一体的に行っていただきたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

静岡県川根本町

○現状

本町には、主な路線として国道 362 号と国道 473 号、寸又峡には主要地方道川根寸又峡線がありますが、国道 362 号では、平成 23 年度以降の完成を目指し、富士城バイパス、青部バイパス、上長尾バイパスの整備が進められている。

また、町道においては、財政的な制約や地形的条件から、十分な改良工事が進んでいない。

○課題

町民の利便性や安全性の向上のほか、富士山静岡空港の開港、新東名高速道の開通を控え、行楽シーズンの渋滞の解消や、大規模災害時の交通確保に向け、幹線道路の早期整備を進めなければならない。

近年では短時間に激しい雨が降る頻度が増しており、災害に強い道路づくりが望まれている。

また、車両の大型化、高速化により、歩行者にとって安全・安心して歩行可能なように歩道の整備も望まれている。

②-2 地域の目指すべき将来像

地域の活性化のためには、道路整備が最重要課題である。

ただ、通過点とならぬよう、道路整備と関連して訪問者と地元との交流する場も必要となる。また、既存の公共交通機関の利用率向上につながるような道路整備が必要であると考える。

高齢化が進むわが町では、高速化よりも、安全・安心な道路整備を望む。

道路整備を国・県に要望するだけでなく、道路がより美しく、誰もが快適に感じられるよう沿線各地で、道路と自分たちが可能な範囲で管理する住民ボランティアグループが生まれてくることを期待・提案している。